

令和7年度 第7回県政参画電子アンケート  
「鳥取県読書バリアフリー計画改訂」の改定に係るアンケート  
結果概要

## 1 調査概要

- テーマ 「鳥取県読書バリアフリー計画改訂」に関するアンケート
- 実施期間 令和7年12月26日～令和8年1月13日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 729名
- 回答数 429名(回答率 58.8%)

## 2 目的・概要

鳥取県では令和3年3月に「鳥取県視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画(鳥取県読書バリアフリー計画)」を策定し、障がいの有無にかかわらずすべての人が等しく読書を通じて文字・活字文化の恩恵を享受することができる社会の実現に向けて取り組んでいます。計画策定から4年が経過したことから、現在、これまでの施策の実施状況や社会の変化等を踏まえて計画の改訂作業を進めています

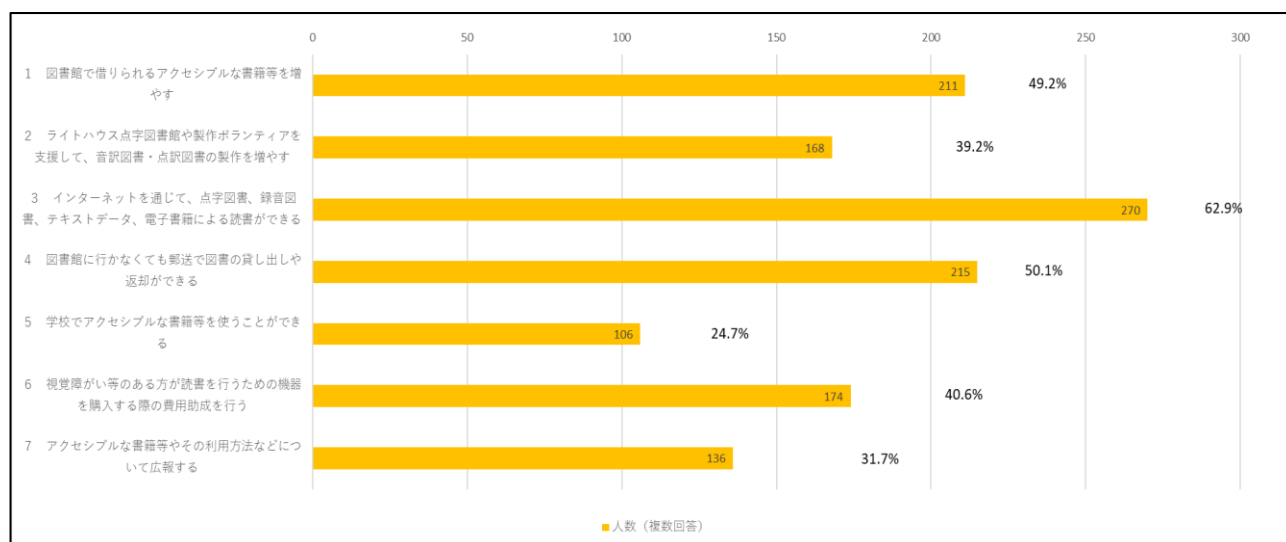
アンケートへのご協力ありがとうございました。

詳しくはこちら→<https://www.library.pref.tottori.jp/info/post-336.html>

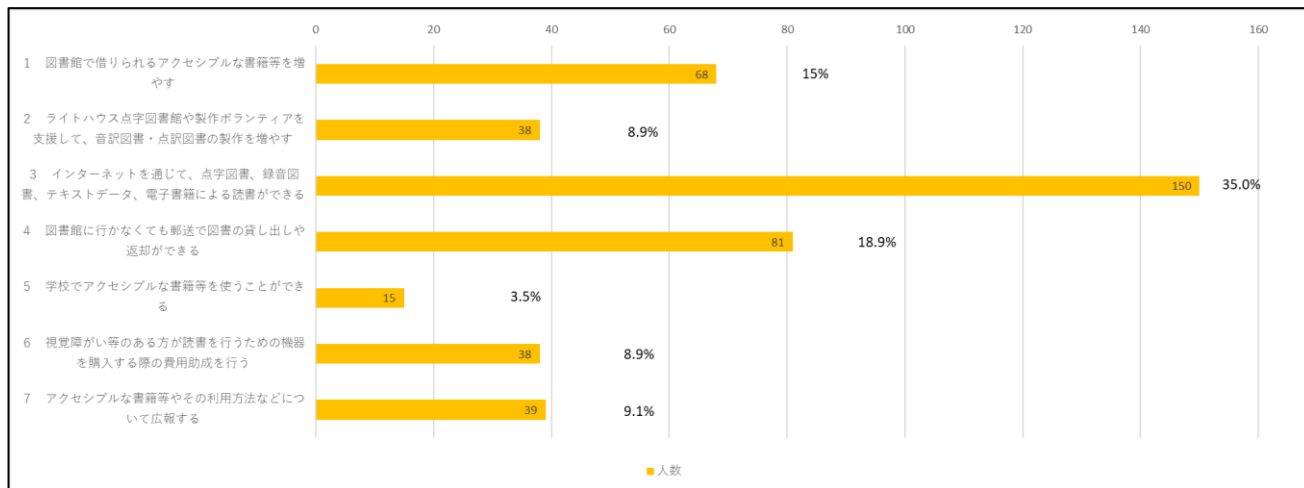
※読書バリアフリー…さまざまな読書の困難に対して、アクセシブルな書籍等をそろえたり、施設やサービスを整えたり等の方法でバリアを取り除き、障がいの有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにすること。

※アクセシブルな書籍等…オーディオブック、大活字本、やさしい日本語の本など、様々な読みにくさを解消するために工夫された本のこと。

**【問1】** 現在、視覚障がい者等(視覚障がい者、読字に困難がある発達障がい者、寝たきりや上肢に障がいがある等の理由により、書籍を持つことやページをめくるのが難しい、あるいは眼球使用が困難である身体障がい者等。なお、障がい者手帳の所持の有無は問わない。)を対象として、障がいの有無にかかわらず読書できる社会の実現に向けて取り組んでいる施策のうち、あなたが重視すべきと考えるものは何ですか。当てはまるものすべてを選んでください。



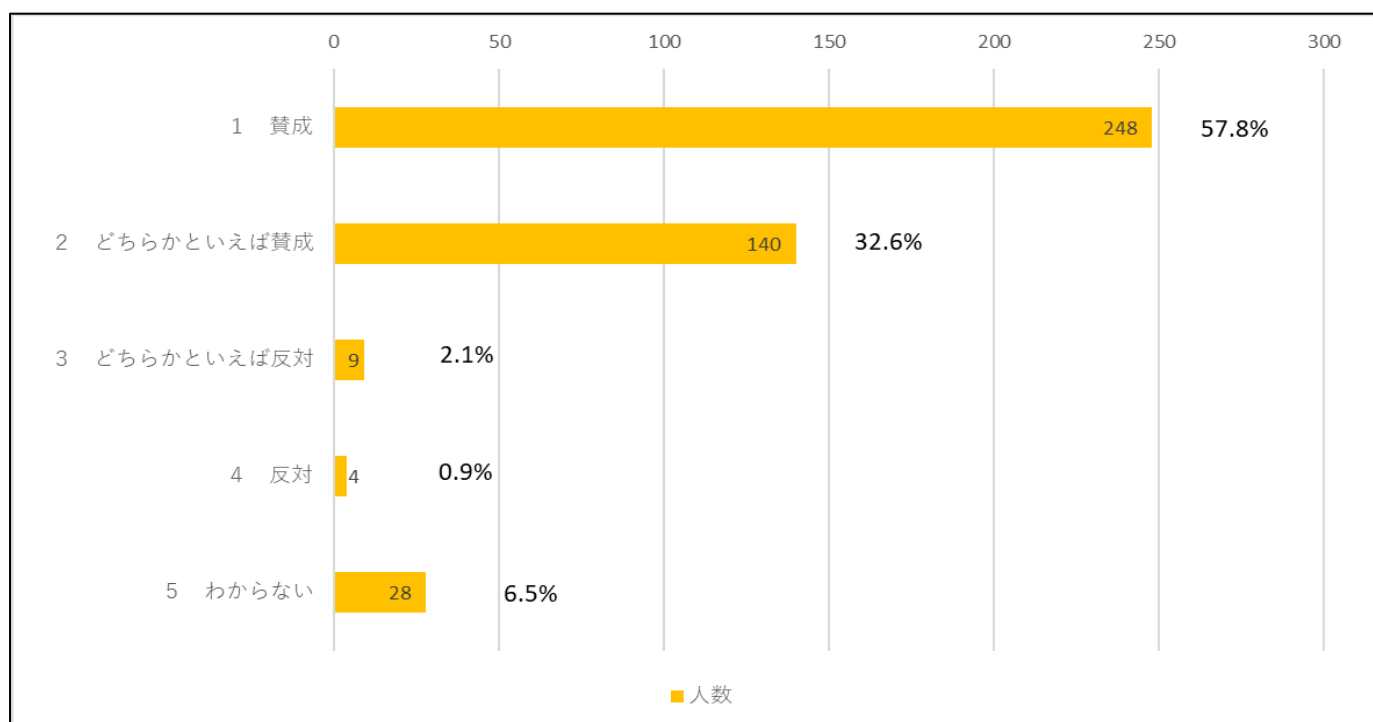
【問2】 問1で選んだもののうち、あなたが最も重要と考えるものを一つ選んでください。



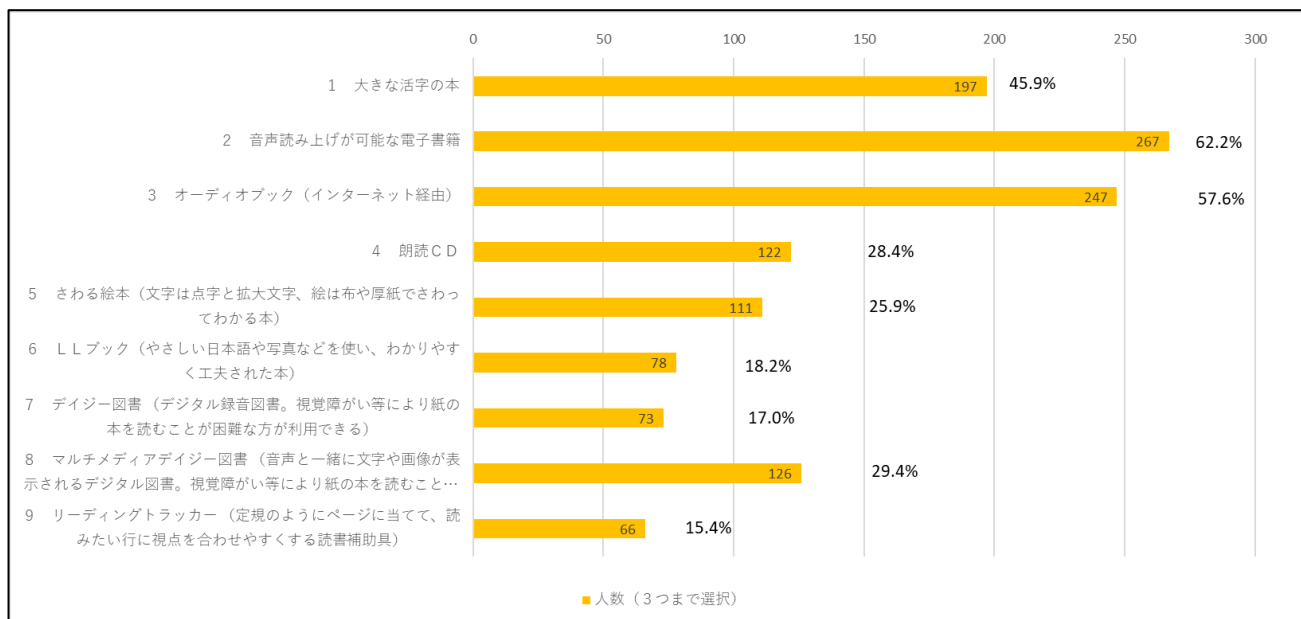
【問3】 改訂案では、対象を「視覚障がい者等と高齢、聴覚障がい、知的障がい、軽度認知障がい(MCI)、認知症などの理由により紙に印刷された一般的な書籍等による読書に困難があるすべての人」へ広げることを検討しています。このことについて、あなたの考え方に近いものを一つ選んでください。

(追加する理由)

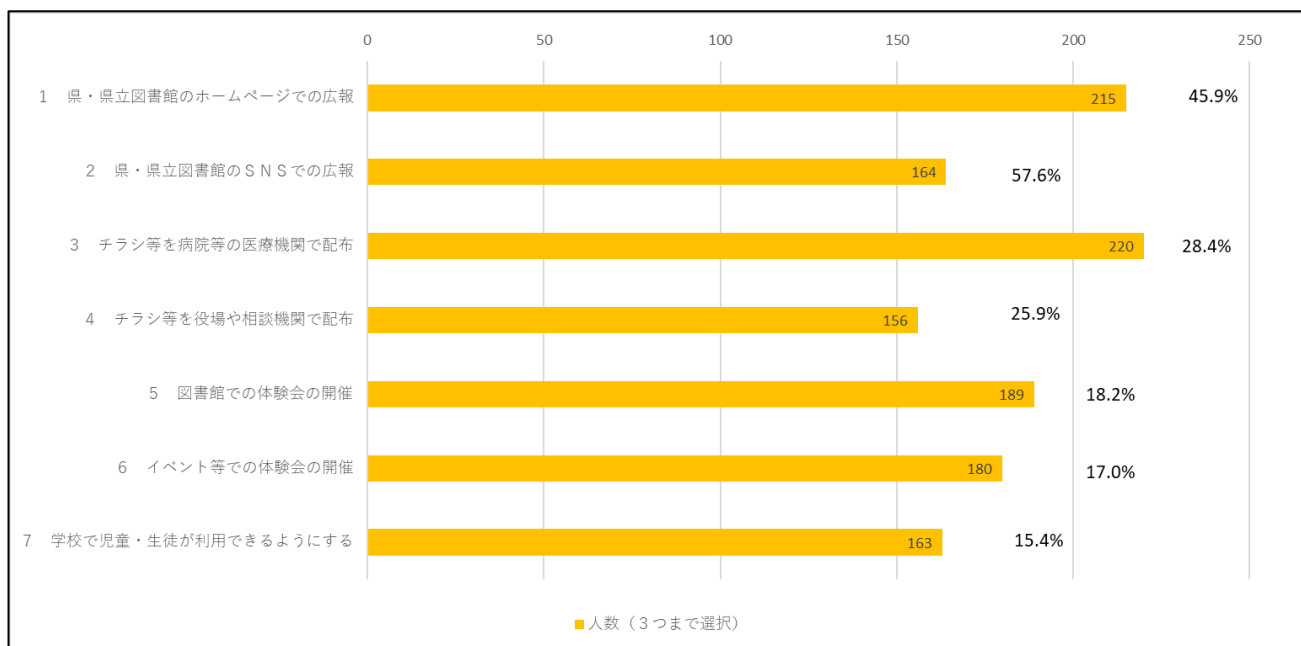
- ・高齢になると老眼や視力の低下により、読書量が減ってしまうことがありますが、大活字本といったアクセシブルな書籍等で読書がしやすくなります。
- ・聴覚障がいの場合、聴力を失った年齢や聞こえの程度によって、文字による文章の理解が難しい場合がありますが、その人にあったアクセシブルな書籍等を選ぶと読書がしやすくなります。
- ・知的障がいの場合その人にあった内容やアクセシブルな書籍等を選ぶと読書がしやすくなります。
- ・軽度認知障がい(MCI)や認知症の場合、病状に応じ本人が楽しめる本やアクセシブルな書籍等を選ぶと読書がしやすくなります。



【問4】 次のアクセシブルな書籍等や読書バリアフリーのサービスのうち、あなたが使ってみたいと思うものを三つ選んでください。



【問5】 アクセシブルな書籍等や読書バリアフリーのサービスを普及させるための方法として、あなたが重要だと思うものを三つ選んでください。



【問6】 その他、視覚障がい者等に向けた読書環境の整備の推進について、ご意見等がある場合は記入してください。

※自由記載のため省略。